

延岡中学校 学校だより 7月号

充実した夏休みを過ごそう!!

本校は7月22日に一学期の終業の日を迎えます。大きな事件・事故等もなく、学校行事やPTA活動等様々な場面で、保護者や地域社会の皆様の御支援や御協力をいただきました。誠にありがとうございました。

さて、生徒の皆さんにとって、待ちにまった35日間の夏休みが始まります。夏休みを有意義に過ごすためには、生徒指導部から出される「よりよい夏休みを過ごすために」や学年通信・学級通信等で書かれている約束事項をしっかりと守って生活をしてください。

その上で、まとまった時間が確保できるこの期間に、得意としない教科や日頃十分に時間がとれない読書、家庭での手伝い、地域社会での活動などに積極的に取り組みましょう。また、3年生にとってこの夏は、勝負の時となります。各高校のオープンスクールに参加して自分の希望と合致するのかを確かめたり、先生方や保護者との三者面談を通して、自分の進路や将来像を考え深めてください。

保護者・地域の皆様には、生徒が多く時間を家庭・地域で過ごすこの夏休みに、子どもたちに積極的に関わっていただきたいと考えます。日頃できない家事や地域の行事等で役割をもたせ、生徒の皆さんが充実した時間を過ごせるよう御指導をお願い致します。

2学期の始業の日(8月27日)に、全ての生徒の皆さんが、心身ともに成長した姿で登校することができるよう改めてお願いし、一学期のお礼の挨拶といたします。

チャレンジする心を育てよう

生徒の皆さんには、これからの変化の激しい長い人生を生きていくために、それなりの準備をすることが大事だと折に触れ話をしてきました。大切なことは失敗を恐れず、様々な事に積極的に取り組んでみることです。一学期を振り返ってどうだったでしょうか。ここで、皆さんとさほど年齢差のないフィギュアスケート選手の紀平梨花(きひらりか)さんの話を紹介します。

今年4月、フィギュアスケート世界国別対抗戦が、マリンメッセ福岡で開催されました。4月13日に女子のフリーが行われ、紀平選手は5位で、ロシアの選手が1位、坂本花織選手が3位でした。この大会は国別対抗で、優勝は米国、連覇を目指していた日本は2位でした。紀平選手は今季、幾度となく世界に驚きを与えた演技でフリーを勝負したのですが、冒頭の3回転アクセルで転倒、次の2回転アクセル3回転トウループと3回転ループはなんとか決めたものの、後半の連続ジャンプで転倒するなど不本意な結果で終わりました。しかし、試合後のインタビューで紀平選手は「もっと(日本を)引っ張っていきけるような演技がしたかった。次につながる課題も見えた。もっとたくさん練習して、自信を持った状態で大きな試合に出て、そこで勝つのが大事」ときっぱりと述べたのでした。

若干15歳の少女が世界の大舞台で期待されながらも、不本意な結果となった後の記者会見でのこの発言には驚きました。しかし、皆さんがこれからの社会を逞しく生きていくためには、紀平選手のような、失敗してもそのことを糧とするような精神的なタフさと前向き思考が必要ではないでしょうか。同世代の皆さんにとって参考にしてほしいと思う人物だと思いました。

8月の行事



1日(木)	小中合同研修会
4日(日)	市学校保健大会
9日(金)	学校閉庁日 ~15日(木)
19日(月)	登校日
20日(火)	特別講座 ~23日(金)

21日(水)	漢字検定
27日(火)	始業の日
28日(水)	課題テスト ~29日(木)
30日(金)	学級・全校専門委員会